

グループワークテーマ

令和4年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題は**1題**です。
2. グループ討議時間は**50分**です。
3. この冊子は持ち帰ることができます。

問 題

東京都は、気候危機に立ち向かう行動を加速し、ゼロエミッション東京の実現を目指している。あなた達は、CO₂実質ゼロに貢献する持続可能な循環型社会への転換を図るため、データやデジタル技術を活用した具体的な方策を検討するプロジェクトチームに選ばれた。

持続可能な社会への転換を進めるため、どのように取り組んでいくべきか。資料1～3を参考に、チームで議論し、東京都職員として職場の上司に説明するために必要なポイントをホワイトボードにまとめなさい。

資料 1

東京都が目指す2040年代の東京のビジョン

ゼロエミッション東京

目指す2040年代の東京の姿

- 2050年までに、都内のCO₂排出量は実質ゼロを実現し、都市活動に伴う国内外のCO₂削減にも大きく貢献
- 再生可能エネルギーとグリーン水素を柱としたゼロエミッション住宅・事業所、ZEVの普及、CO₂を回収・利用・貯留する新技術などのイノベーションが進展
- ライフスタイルの転換やイノベーションにより、プラスチック等の3Rや食品ロス削減等が進み、製造・流通・廃棄段階でCO₂排出量実質ゼロに貢献する持続可能な資源利用が実現
- 気候変動への対処や適応力の強化により、豪雨や猛暑の影響は軽減されている。また、東京の美しい水や緑、そして空気は将来世代に引き継がれている
- 脱炭素を実現したサステナブルな東京は、世界中の人々や企業・投資を惹きつける都市となっている



出典：東京都『『未来の東京』戦略』（令和3年3月）より作成

資料 2

日本の食品ロス量（令和元年度推計値）

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

出典：農林水産省ホームページより作成

資料 3

総資源化量とリサイクル率の推移

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

出典：環境省「日本の廃棄物処理 令和元年度版」（令和3年3月）より作成